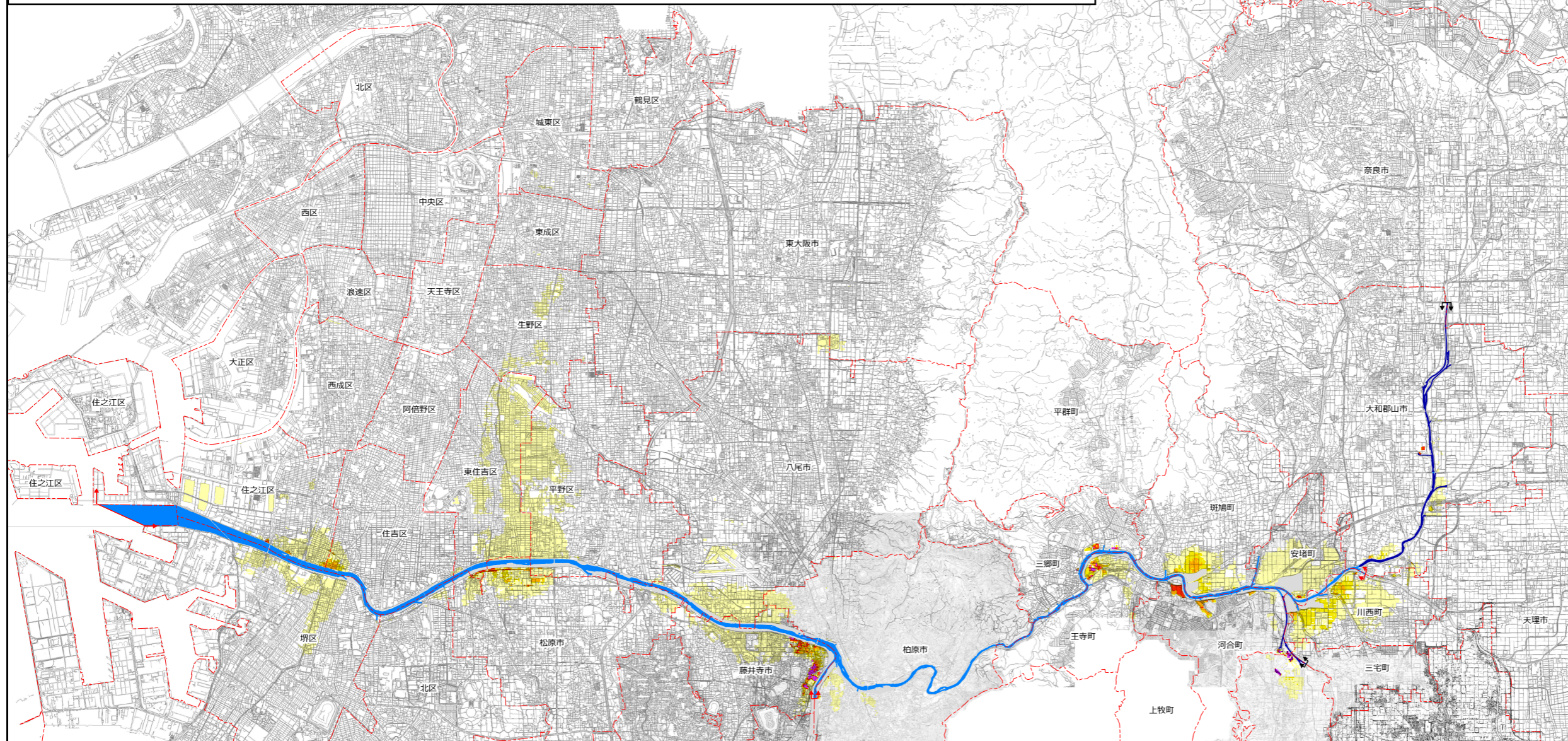


大和川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ 【中長期河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示



- 凡例
- 高頻度 (1/10)
 - 中高頻度 (1/30)
 - 中頻度 (1/50)
 - 中低頻度 (1/100)
 - 低頻度 (1/200)
 - 想定最大規模
 - 市町村境界
 - 河川等範囲
 - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川(石川含む)
 - 洪水予報河川以外の直轄管理河川

1. 説明文
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/200の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
 (2) この水害リスクマップは、現況の大和川水系大和川、曾我川及び佐保川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/200(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/200(0.5%)の降雨に伴う洪水により大和川、曾我川及び佐保川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
 なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(平成7年7月型、平成5年7月型、昭和40年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和5年3月15日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・大和川河川事務所：大和川水系大和川、曾我川及び佐保川
 (3) 実施区間
 【大和川河川事務所】
 ・大和川水系大和川
 左岸：奈良県磯城郡川西町北吐地先から海まで
 右岸：奈良県大和郡山市額田部町地先から海まで
 ・大和川水系曾我川
 左岸：奈良県葛城郡広陵町大場地先から大和川合流点まで
 右岸：奈良県磯城郡三宅町小柳地先から大和川合流点まで
 ・大和川水系佐保川
 左岸：奈良県奈良市西九条町地先から大和川合流点まで
 右岸：奈良県大和郡山市観音寺町地先から大和川合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨
 ・年超過確率1/10(大和川流域の12時間の総雨量108mm)
 ・年超過確率1/30(大和川流域の12時間の総雨量129mm)
 ・年超過確率1/50(大和川流域の12時間の総雨量138mm)
 ・年超過確率1/100(大和川流域の12時間の総雨量151mm)
 ・年超過確率1/200(大和川流域の12時間の総雨量164mm)

(5) 河道条件：中長期河道
 (6) 関係市町村：大阪市、堺市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、東大阪市、奈良市、大和郡山市、天理市、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、王寺町、広陵町、河合町

この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

